

各位

上場会社名 株式会社 名村造船所
 代表者 代表取締役社長 名村 建介
 (コード番号 7014)
 問合せ先責任者 取締役専務執行役員社長補佐 井関 延行
 (TEL 06-6543-3561)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の決算取締役会において、平成27年3月31日を基準日とする剰余金の配当を下記のとおり行う旨の株主総会議案を決議いたしましたのでお知らせします。なお、本件につきましては、平成27年6月24日開催予定の第116回定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成27年2月6日公表)	(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)
基準日	平成27年3月31日	同左	平成26年3月31日
1株当たり配当金	20円00銭	10円00銭	20円00銭
配当金の総額	1,379百万円	—	968百万円
効力発生日	平成27年6月25日	—	平成26年6月25日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

剰余金の配当につきましては、期初公表時（平成26年5月9日）に第2四半期末配当金（中間配当金）10円、期末配当金10円としておりましたが、第2四半期累計期間の業績が期初公表値を上回ったことから、平成26年10月31日公表のとおり中間配当金を10円から15円へと見直しました。

平成27年3月期の業績につきましては、平成27年2月6日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」で上方修正しましたが、修正公表以降、為替相場が120円前後と当社想定レートに比べ円安基調で推移したことによる増収効果に加えて未竣工船を対象とする工事損失引当金の大幅な取崩しや為替差益等を計上した結果、連結および個別業績ともに、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれにおいても修正公表値を更に上回りました。

本日の取締役会において、通期当期純利益の実績値が修正公表値を上回ったことにより期末配当金を増額して1株当たり10円から10円増額して20円（中間配当金15円を加えた年間配当金は35円）の予定とすることといたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	15円00銭	20円00銭	35円00銭
前期実績 (平成26年3月期)	10円00銭	20円00銭	30円00銭

以上